



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2013. 第 73 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

8月も終わり、もう9月・・・しかし、今年の夏は暑かったですね。そして、長かったと思います。

梅雨が早く明けてもう本当にすぐに暑くなり始めました。例年より10日以上も早い梅雨明けで、しかも、いきなりの高温です。身体が本当についていきませんでした。

ほぼ2カ月の暑さでしたが、毎年思うのですが振り返れば、過ぎ去っていくのは早いのですが、その真っ只中の時は、それはそれは暑くて・・・今年のは本当に身体にこたえました。

その間のお客様にも本当にお気をつけていただき、ありがとうございました。

冷たい物の差し入れ、とてもありがたか

ったです。

これから秋にむけて、さらに外の仕事の私たちにとっては“いい季節”になります。

“食欲の秋”とも言いますからね。美味しいものをたくさん食べて、頑張りたいと思います。



■携帯のない生活って・・・

昨年の夏に買ったスマートフォンを修理に出しました。1週間くらいかかるそうなので、その間、携帯を持たない生活になります。

“ないことに慣れていない”ので不便なことこの上ないですね。ぼくの記憶の中にある電話番号と言えば、“自宅”と“実家”くらいなもので、あとはまるで覚えていません。昔はもっと覚えていたのですが、ダイヤルすることをしなくなってから覚えなくなりましたね。

とりあえず、最初に作ったのがアドレス帳。メモ用紙に妻の携帯番号、仕事のスタッフ、材料店、携帯を預けている間に関係してくるお客様の電話。

そのメモを1枚コピー。2枚にして持ち歩いています。少人数とはいえ電話番号を書いたメモですから、なくすわけにはいきません。

本当に紛失しないよう気をつけています。

でも、電話番号を持っているとはいえ、いざかけたいときに“電話”がないわけですから、かけられるはずもありません。

ここが不便ですね。街の中からは消えていってる公衆電話も、コンビニにはありますのでそこに行ったりするか、もしくは、仕事が終わって自宅に帰ってからするかありません。

現場で一緒に働いている金子さんに借りるのも、悪いなあ・・・と少し気が引けるし、親方にいたっては持ってすらいません。

“かける側”としてはこんな感じでまだなんとかなるのですが、“かけられる側”として、かかってくる電話には、もう対処のしようがありません。もう電話は手元にないのですから・・・。

主要メンバーには携帯を持ってないことを伝えてありますからかけてはこないはずですが、もし、それ以外の方からかかってきたり、メールがきてたらどうしよう・・・と少し心配ではあります。

ほぼいらっしゃらないと思いますが、もしこれを読んでいる方で、僕の携帯に電話をしてきている方がいらしゃったら本当にごめんなさい・・・。

でも、つい最近になってケイタイというものが普及してきたわけですが、少し前ま

ではこの状態が当たり前だったんですよね。

出先から電話をかけたければアドレス帳を持ち歩いて、テレフォンカードや10円玉をつかって公衆電話から電話をかける。

そういえば10円玉1枚入れてから、そのあともう100円玉しかないことに気がついたときには悲惨ですね。話は始まってしまったので100円を両替に行くこともできず。かといって10円では時間が足りない。仕方なしに100円玉を入れるのですが、意外にそのあとすぐ話が終わってしまい・・・。

電話って、“おつり”出ないんですよね。あと10円1枚あれば100円じゃなくても済んだのに・・・なんていうことも。

あと、こういったことを逆手にとって、「あっ・・・もう10円玉ないから・・・もう切るね」と話したくない人や要件だったら、強引に切っちゃったりして・・・。

そんなことを携帯のない生活で思い出しました。これを書いている時点では修理に出したばかりなのであと5、6日はかかるんじゃないのでしょうか？

いづれにしても早く戻ってきてほしいですね。



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

前号でご報告させて頂きましたとおり、次女が誕生しまして、一カ月が経ちました。

小さかった体も、あっという間に大きくなり、3500gを超えて元気に成長しております。

一方で、妻は長い入院生活の反動か、いまだに体調が本調子に無く……。家事も休み休みといった状況です。

そして長女の方も、あの凜とした姿はどこへやら。妻が帰って来て、また甘えん坊の赤ちゃんに戻ってしまいました……。

まあ、妻の入院中、だいぶ我慢していたんでしょうから、仕方ないですね。

そんな状況ですので、私も家事や育児にフル回転……。夜中のミルクで寝不足気味になりながらも、色々な人の助けを借りて、頑張っております。

今回の次女の出産に関しては、長期の入院で、大変な思いをしました。特に妻は……。

妊婦さんは、ただでさえ、妊娠生活を送るのに体力そして精神的に負担が掛かりますよね。男には計り知れない部分です……。

しかし、逆を返せば、こういう時に、奥さんにどれだけ協力できるかが、男の器の見せ所でもありまして……。夫婦共に助け合って、出産・育児をしていく……。理想だと思います。

そんな男性、勿論、妊婦さんを応援する意味で2冊の本をご紹介しますと思います。

『わたしがあなたを選びました』

(著：鮫島浩二、出版社：主婦の友社)

生まれてくる赤ちゃんの目線で書かれた詩です。改めて、命の尊さを感じます。



挿絵が大きく、短い文章なので、肩ひじ張らず、短時間でも読むことが可能です。

妊娠中・出産前・育児中、そして一人で読書が出来るようになったら、お子さんにも読んでいただきたい本です。

そしてもう一冊は……

『はじめての妊娠・出産

安心マタニティブック』

(著：A.Christine Harris、

出版社：永岡書店)

妊娠中、当然ながら胎児の成長を直接目にすることは出来ません。



しかし、現代では妊娠何日目にもこういった成長をしているのかが、分かっているそうです。

一日ずつ、赤ちゃんの成長、母体の変化が説明されています。

妊娠期間は、とても長いものですよね。毎日の成長を想像すると、楽しみながら大事な時期を過ごすことが出来るのではないのでしょうか。

この2冊、ご家族・ご友人が妊娠された

ら、プレゼントされても良いかと思えます。
素敵な贈り物になる事、間違いなしです！
話しは変わりました・・・

■塗装スタッフを募集しております

ただいま当店では、お客様からのご期待、お声に更に応えていくため、私達と一緒に現場でお仕事をしてくれる塗装スタッフを募集中です。

お客様宛のお手紙に、このような内容の記事を載せるのも気が引けたのですが・・・。

今のご時世、安定した仕事に就いて、お給料を稼ぐのも、なかなか難しい状況となっております。

「お客様の家を綺麗にする」というのが、当店の最大かつ唯一の役目とっておりましたが、「雇用」という観点からしてみれば、これもある意味、社会貢献の一つではないかと思うのです。

もし、お知り合いの方でお仕事をお探しの方がいらっしゃいましたら、一度、この件をお伝えいただけませんか？

塗装の経験は一切不問です。

何事も、誰もがまずは未経験、初心者なわけです。私どもが責任を持って、指導にあたります。ご心配なさないでください。

とは言え、外での仕事となるため、暑さ・寒さの中、体力を必要とします。細かい作業の繰り返しもあるため、根気も必要です。

初めのうちは、慣れずに苦労される事もあるかと思いますが、乗り越えた先には、「お客様の感謝」が待っています。

当店のお客様は、そのほとんどが、当店の営業、そしてお客様等のご紹介によるものです。

下請けや公共事業の仕事ではないからこそ、お客様からいただく感謝を直に感じられる・・・それが当店の仕事の醍醐味です。

「仕事をしたい！」

「手に職を付けたい！」

「人を笑顔にしたい！」

・・・と思える方なら、誰でも出来る仕事だと思います。

募集の詳細は当店ホームページ、ブログ、ハローワークの情報端末でご覧頂けます。

ホームページには、一昨年から当店で頑張ってくれているお客様に大評判『金子君』の経験談、想い、コメントを載せています。

塗装の仕事って？と疑問・不安のある方は、ご参考にさせていただければと思います。

かつての三河商人の心得で「三方良し」という言葉があります。

「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」

皆さんと共に笑顔になりたいと思っています。何卒、宜しくお願い致します。

~~~~~

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

